



【読書】キャラクター「おっほん」

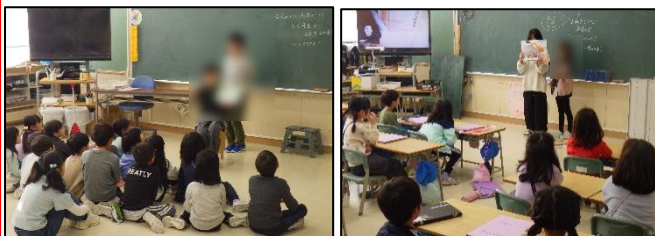
札幌市立福住小学校

読書活動の取組

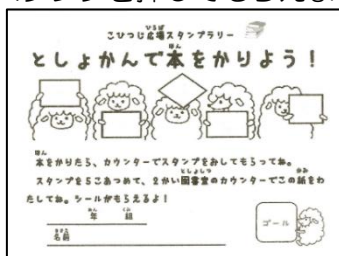
読書センターとしての機能

■こひつじボランティアや図書委員会による「朝の読み聞かせ」「スタンプラリー」

本校では朝の活動の時間に、こひつじボランティアの方々や、図書委員会による読み聞かせを行っています。絵本の世界に浸ることで、落ち着いた状態で1日をスタートさせることができます。



また図書館利用推進のためにこひつじボランティアが企画したスタンプラリーでは、本を一冊借りると、数字の部分にスタンプを押してもらえます。このシールを5つ集めると、シールと交換され、子どもたちが図書館に足を運ぶ機会となりました。



学習センターとしての機能

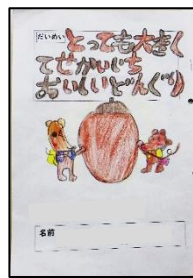
■4年生国語科『友情のかべ新聞』



4年生は、ミステリーのおもしろさについて学習した後、図書館で探偵ものを中心とした作品を読みました。おもしろさを探ってノートやワークシートにまとめる活動を行う中で、友達の読む作品にも関心を高め、休み時間に借りに来る児童が増えました。

■2年生国語科『お話のさくしゃになろう』

1年生がときどきわくわくするようなお話を書くために、2年生は人気の絵本（ノラネコぐんだんやぐりとぐら等）を読む活動を行いました。物語の展開の特徴に気づき、学習に生かしていました。



情報センターとしての機能

■こひつじボランティアや図書委員会によるおすすめ本展示・ポスター「この本いいよ!」

おすすめ本を紹介するコーナー「この本いいよ!」が図書館にあります。おすすめしたい本の題名と好きな理由を紙に書いてこひつじポストに投函します。本の表紙も添えることで、興味が湧く展示となっています。全校児童が来館した際、少しでも様々なジャンルの本に関心をもてるようにしています。



また、図書委員会でも、低学年・中学年・高学年それぞれに合った本を、ポスターにして紹介しています。低学年を中心に、ポスターを見て、読書への意欲を高めている姿が見られます。

